Knowledge Suite

case

関東64施設と本部とをクラウドを通じてスムーズな情報伝達を実現

保育 株式会社グローバルキッズ 様

関東を中心に 64 拠点の保育園と学童を展開している株式会社グローバルキッズ様。
急速に拡大する施設との情報共有の基盤を一元化し、本部、各施設の業務効率向上を図るため、
『Knowledge Suite』の導入を決定した。

Excel 管理や手帳管理の限界を感じ、手軽な情報共有ツールが必要に。

当社は、主に保育施設及び学童施設を展開。創業8年目ですが、64 拠点の施設を運営しています。今後も施設拡大を視野に入れながら、事業の拡大を考えていますが、急速に拡大する保育園施設や約 1,200 名の職員との情報共有、本部、各施設の情報伝達をこれまでよりも効率的に進める必要があり、グループウェア導入の検討を始めました。

手始めに、社内の情報共有ツールとして、大手グループウェアメーカーの無料版を試験的に始めてみましたが、会議室等の設備予約管理機能が不足しているなど、業務の実態に合わない部分が多く、全社的な運用は難しい状況でした。

もともとスケジュールなど部内で情報共用できるツールがなかった頃は、Excel 管理や個人の手帳での管理をしていたためアナログ運用で、特にＰＣが苦手な社員が多かったため、グループウェアの浸透も課題がありました。

さらに、設備予約など連動していなかったため、利用するきっかけが少なくなり、結果としてアナログから脱却できずにいました。さらにその頃は、設備予約の重複が頻繁に発生し、会議室利用にトラブルも少なくありませんでした。

低コストで余計なオプションは不要。職員に浸透しそうな操作性が決め手。

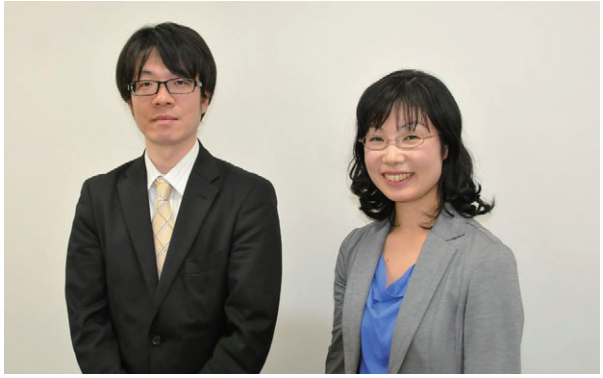
その後、自分たちのニーズに合うグループウェアはないか、様々なクラウド製品を探していましたが、よりよいものを導入するにあたってコストがかかってしまうものや余計な機能がついているものは避けました。

ちょうどその頃、WEB にて『Knowledge Suite』を知り、販売代理店のジェイズ・コミュニケーションさんからのデモ提案を受け、これで解決できると確信しました。

多くの機能を有し、もともとの課題であった設備予約が解決でき、さらには低コストで導入できる点を知り、その場でトライアルを申し込みました。

トライアルをしてみて契約しようと思った決め手としては、業務課題を解決できる機能があることはもちろん、余計なオプションがないことに加え従業員に浸透しそうなシンプルなデザインが気に入ったことです。

また、日程調整の際にカレンダーで予定をドラッグアンドドロップで移動ができるなど、直感的に操作できる点は上長の評価は高かったようです。



予定管理や設備予約はもちろん、本部施設間の情報伝達がスムーズに。

（経営管理部 システムグループ グループリーダー：佐竹 知史氏
/ 経営管理部 企画担当：田中 葉月氏）

コミュニケーションツールとして定着。各施設の予定管理、申請業務にも導入。

『Knowledge Suite』の導入を機に、設備予約管理が可能になり、部内で共有できるため、スケジュール管理や設備予約業務の効率も上がりました。

『Knowledge Suite』は、ユーザ数にかかわらず、低コストで導入できるうえに、シンプルで操作性の優れたデザインが気に入り、私たちのニーズにも合っていました。また、パソコンが苦手な方でも安心して取り入れられるグループウェアですので、本部への浸透は早かったです。

その他、これまでメールと電話でのコミュニケーションが通常でしたが、本部内ではメッセージ機能や電話メモを頻繁に使っており、携帯電話やスマートフォンを所持している従業員も多いため、外出先で利用も広がり、コミュニケーションが活性化されたように思います。

今後、各施設では、スケジュールやトピック機能を活用し、各保育園の遠足などイベント連絡事項の伝達ツールとして運用していきます。

さらには、稟議申請業務の効率化のため、ワークフロー機能による旅費・交通費精算の活用を進め、業務への利用も広げていくつもりです。

今後の課題は「全施設・全職員での運用」。さらなる利用拡大を目指す。

保育という職種は少し特殊で子どもへの教育に特化しているためビジネスマン的な要素が少なく、パソコンが苦手な方も多いため、施設での運用を定着するには時間がかかります。

シンプルでわかりやすい機能ばかりですし、現場の方が『Knowledge Suite』で活用する作業はそんなに多くはないため、まずはパソコンに慣れて、操作を覚えてもらうため、ひとつひとつの施設を回り、ひとりひとりに地道に教育を行い『Knowledge Suite』を全施設の方々が便利に使えるように推進しています。

今後ですが、保育施設が不足している状況の中で、当社も施設数の拡大を進め、会社規模も拡大していく見込みです。さらには全国展開も視野に入れ、事業の拡大を図っていきます。そのためには、本部はもちろん各施設の業務効率を上げるため、グループウェアの定着を進めなければなりません。全職員に活用してもらうため、少しずつ着実に利用促進を進めていきたいと思います。

Outline

GlobalKids®

株式会社グローバルキッズ

保育施設を中心に運営をしている株式会社グローバルキッズ。保育士、栄養士含め約 1,200 人の体制で、東京、横浜など関東を中心に 64 の保育園、学童施設を運営。

設立年月日： 2006 年 5 月 23 日
所　在　地： 東京都千代田区神田錦町 3-21
事 業 内 容： 保育施設及び学童の運営、ベビーシッターの養成と派遣、公共施設での託児サービス、イベント等での託児、ベビー用品・子供服の輸入及び販売
U　R　L： http://www.gkids.co.jp/